是非、見てほしい私の現場 Vol. 1

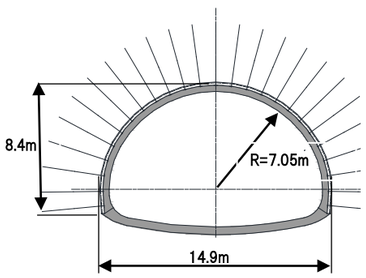
国道 45 号　吉浜釜石道路工事　大林・富士ピー・エス特定建設工事共同企業体

唐丹湾を眺める橋梁とトンネルのパノラマ工区

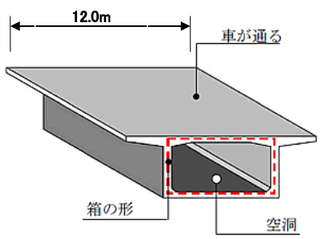
1 目的・概要

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359km の自動車専用道路で、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトです。このうち国道45号吉浜釜石道路工事は、岩手県釜石市の釜石唐丹 IC(仮称)～釜石南 IC(仮称)間、延長約 3.2km の区間に橋梁2ヵ所とトンネル3本を建設するもので、復興道路として早期供用が期待されています。

トンネルは掘削断面積 101.0～121.7 ㎡、掘削幅 14.6～16.1mの大断面トンネルとなっており、橋梁は有効幅員 12.0m の PC 箱桁橋で、橋脚(柱)は高さ 27.5～42.5m の高橋脚(ハイピア)構造です。



トンネル断面(軟岩部)



PC 箱桁橋

【まめ知識】　～PC 箱桁橋とは？～
その言葉の通りに、橋桁の断面が箱の形をした橋梁です。車は橋の上を通りますが、箱の中は、橋の点検を行う時などに人が入れるようになっています。

2 現場を支える技術　～～ トンネルと橋の技術、地域社会との協調 ～～

トンネルを掘るには、土の硬い区間と軟らかい区間があります。硬い区間は発破(火薬)を使い、軟らかい区間は周囲へ影響を与えないよう機械で掘削します。橋梁は、転倒しないよう地中に基礎杭を設置して、その上に橋脚(柱)をつくりあげます。橋脚に架かる橋桁は、橋脚の上部から両側に張り出しながら繋げるので、下に道路や河川があっても工事が可能です。

トンネル：発破掘削(左)と機械掘削(右)

橋脚：施工状況(手前は深礎杭)

基礎杭：場所打ち杭(φ1.5m)と深礎杭(φ10.8m)

橋桁：張出架設の施工イメージと完成予想図

地域の方々の生活環境を守ることを第一に考えています。工事騒音を極力外に漏らさない対策とともに、工事状況を地域社会に積極的に発信し、工事内容を広く知っていただく工夫をしています。

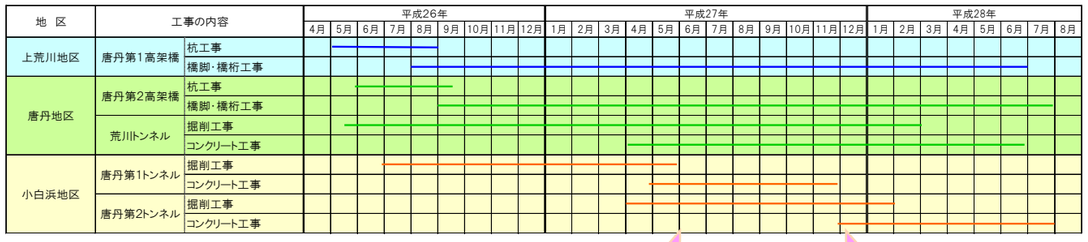
トンネル坑口に防音ハウスを設置

着工式で地域の皆さんと記念撮影

唐丹小学生全校生徒を招いての現場見学会

3 工程・スケジュール、現場の見頃

平成27年5月～平成27年12月頃は、トンネル掘削・コンクリート工事と橋脚・橋桁工事を全て見ることができる最盛期です。



いろいろな工事が同時進行！

KEY PERSON

入社4年。前の所属現場が橋梁工事だったこともあり、現在唐丹第1高架橋を担当しているが、山岳トンネル工事も過去に2年間経験している。トンネル工事が忙しくなれば、もちろんそちらへも応援に行く。厳しい工期をクリアするために欠かせない人材だ。「橋梁もトンネルも同じ。何でもまかせてください！」

大林・富士ピー・エス
特定建設工事共同企業体
唐丹第1高架橋担当
宮本　賢浩

連絡先
一般社団法人　日本建設業連合会　東北支部
仙台市青葉区本町２－２－３　　ＴＥＬ　022-221-7810　　ＦＡＸ　022-265-9465